

## お わ り に

平潟湾の底泥については漁船等の航行安全を図るため、昭和53年度より、毎年12,000 $m^3$ の部分しゅんせつ<sup>1)</sup>を実施してきている。

しかし、昭和60, 61年度は航路しゅんせつに加えて平潟湾の環境浄化を目的とした全面しゅんせつを実施する計画<sup>1)</sup>である。本計画では昭和60, 61年度にそれぞれ80,000 $m^3$ 、平均底泥厚70 $cm$ の底泥しゅんせつを予定しており、本事業の実施により平潟湾内の水質は良化が期待される場所である。

また横浜市は「金沢区アメニティ・タウン計画<sup>2)</sup>」の中で平潟湾環境保全対策として、“平潟湾においては、従来から漁船等の航行安全のための底泥のしゅんせつやゴミの定期清掃とともに、流域の下水道整備が進められており、また平潟湾水質保全協議会により水質保全のPR等環境保全活動が行われているが、平潟湾の水質はいまだに改善されていない。”と述べている。

これを受けた形で今後とも横浜市は平潟湾の水質保全対策について引続き、具体的な検討を進める考えである。

本報告書では平潟湾並びに金沢湾の水質・底質及び底生生物の調査結果について解析すると共に平潟湾の浄化対策について一般的な考察を試みた。

これらの内容が今後の平潟湾の浄化対策に向けて関係者諸氏の参考になれば幸いである。

### 参考文献

- 1) 横浜市緑政局園芸畜産課資料
- 2) 横浜市公害対策局環境管理室：金沢区アメニティ・タウン計画，「快適な環境の実現をめざして」79（1985）

平潟湾・金沢湾周辺水域環境調査報告書

---

1986年3月

編集・発行 横浜市公害研究所

〒235 横浜市磯子区滝頭1-2-15

電話 045-752-2605

横浜市広報印刷物登録 第600235号

類別・分類 A-GA 060

印刷 横 濱 大 気 堂

〒231 横浜市中区真砂町4-40

電話 045-641-4161

---